R2 Ⅰ 三

教材名	組	番	氏名
【東書】友達の意見を聞いて考えよう 【光村】聞いて、考えを深めよう			

三　青木さんは、取材を通して分かったことをもとに、インスタント食品のよさについて発表をします。**あなたが青木さんなら**、どのように話しますか。次の**【発表の様子】**の［　　］に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【発表の様子】

今、身の回りには、たくさんのインスタント食品があり、ぼくの家でも食べることがあります。ぼくは、「簡単」、「おいしい」というところがインスタント食品のよさだと思っていましたが、それ以外にも、もっとよさがあるのではないか、と思いました。そこで、身近な人に取材をしてみたところ、いろいろなよさが見つかりました。

ぼくが、みなさんに伝えたいインスタント食品のよさは、［　　］

みなさんは、どのようなところがよさだと思いますか。

〈条件〉

○ **【メモ①】から【メモ③】までの中から、伝えたいインスタント食品のよさを取り上げて書くこと。なお、取り上げるよさは一つでも二つ以上でもよい。**

○ **実際に発表をしているような言葉づかいにすること。**

○ **四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。**

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

ぼくが、みなさんに伝えたいインスタント食品のよさは、

◆（例）いろいろな種類があるので好みに合わせて選ぶことができるところや、一人分だけ作ることができるので作りすぎないところです。（59字）

60字

【メモ①】

4/17（金）
○取材をした相手
家の人
○インスタント食品のよさ
・軽くて持ち運びが楽
・いろいろな種類がある

【メモ②】

4/18（土）
○取材をした相手
スーパーマーケットの店長
○インスタント食品のよさ
・好みに合わせて選ぶことができる
カレー、シチュー、パスタなど
・フリーズドライ製法は
栄養価が保たれる
もとの味やかおりとほぼ変わらない

【メモ③】

4/19（日）
○取材をした相手
一人ぐらしの森さん
○インスタント食品のよさ
・一人分だけ作ることができるから
作りすぎない
食材をむだにすることが少ない
・長持ちするから
買い置きができる

H31　3三

(R2 1三との関連)

教材名
【東書】友達の意見を聞いて考えよう 【光村】聞いて、考えを深めよう
組
番
氏名

3　岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた畳職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、**【広報誌の記事】**、**【直接聞いてみたいこと】**、**【インタビューの様子】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

わが町の達人 ～第25回～

「部屋の床に畳をぴたりとおさめる畳職人」

店主の大谷進さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。

部屋の床にすき間も段差もなくぴたりとおさまる畳を作らせたら、大谷さんの右に出る者がない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにぴたりとおさめることができる。

「私にとって、畳はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

大谷さんの仕上げた畳

【直接聞いてみたいこと】

・大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。

・大谷さんが話しているたたみのみりょくとは何だろうか。

【インタビューの様子】

岸さん　大谷さんが達人として紹介されている、町の広報誌の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

大谷さん　こちらこそ、よろしくお願いします。

岸さん　では、早速ですが、広報誌で大谷さんは、「私にとって、畳はとてもみりょくてきなものです」とおっしゃっていましたよね。どのようなところにみりょくがあると思われますか。

大谷さん　私の店の畳について言えば、全て一点物だということです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した畳は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のみりょくですかね。

岸さん　そうなのですね。それはつまり、［　ア　］

大谷さん　そうです。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん　職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん　親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん　では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん　畳を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん　大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身につけたのですね。

大谷さん　いやいや、見るだけでは身につけられません。「**習うより慣れよ**」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありましたが、何とか親方のようになりたいと思いながら、修業をしていました。

岸さん　そのような思いをもっていたのですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん　思いや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん　すみません。**では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。**

大谷さん　そうですね。五十年も職人をしていますが、いまだに完ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん　お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。［　イ　］特に、またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

三　岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。**【インタビューの様子】**の［　イ　］に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ **【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。**

○ **インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。**

○ **書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。**

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

特に、◆

（例）（特に、）自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと、ちょう戦し続けているところが心に残りました。（57字）

60字

正答率：68.3%